

第2回
アシタシア
サロン

越境的な働き方

『日本一おかしい公務員』が語るさまざまな境を越えた公務員の働き方

未来創造的な官民協働プロジェクトを次々と仕掛ける「スーパー公務員」、山田崇氏。現場、現物、現実から始めて自分を「圧倒的当事者」にする方法論。組織や業種の境を軽々と超えていく思考方法と行動力。余すところなく語っていただきます。

2020年 **11月12日(木)** 18:00~20:00

会場: ① 愛知大学名古屋キャンパス
グローバルコンベンションホール
② WEB参加 (Zoom)

会場参加をご希望の方も、事前にインターネットからのお申し込みをお願いいたします。お申し込みの際に会場参加希望欄にチェックをお願いいたします。愛知大学の入構制限により会場参加が不可になる場合があります。公式サイトで最新情報をご確認の上ご来場ください。

申込 <http://asitasia.aichi-u.ac.jp/topics/salon2>
上記の第2回アシタシアサロンご案内サイトから参加登録をしてご参加ください。(メールアドレス必須)。

第2回
アシタシアサロン
申込みはこちら▶▶



定員 WEB参加 500名
会場参加 150名
(いずれも申込先着)

参加費 **無料**



山田 崇

内閣府 地域活性化伝道師
愛知大学 全キャリア教育・サポートセンター
特任講師 (教育/産学官地域連携)

プログラム

開会あいさつ (18:00~18:05)
愛知大学三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行氏
趣旨説明 (18:05~18:15)
愛知大学法学部 教授 入江容子氏
講演 (18:15~19:45)
内閣府 地域活性化伝道師
空き家プロジェクトnanoda 代表 **山田 崇氏**
演題: 越境的な働き方
質疑応答 (19:45~20:00)

講師紹介

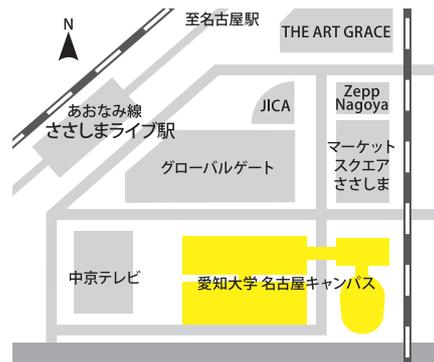
長野県塩尻市の公務員として働きながら、2012年「空き家プロジェクトnanoda」を立ち上げる。内閣府地域活性化伝道師として各地の地域おこしの助言、指導を行う他、信州大学の地域連携研究員として、周辺自治体の若者との連携にも取り組む。「地域に飛び出す公務員アワード2013」大賞、「あしたのまち・くらしづくり活動賞」主催者賞、「地域若者チャレンジ大賞」北信越ブロック優勝、グッドデザイン賞2016「MICHIKARA 官民協働リーダーシッププログラム」など受賞歴多数。著書「日本一おかしい公務員」日本経済新聞出版社(2019)

アシタシアについて... 愛知大学は、平成30年より文部科学省私立大学研究ブランディング事業に採択され、「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」を研究テーマとした取り組みを進めています。越境地域マネジメントは、地域と地域、しくみとしくみ、人と人をつないで、持続可能な社会の形成を目指すものであり、豊橋校舎が立地する三遠南信地域と共に、名古屋校舎が立地するささしま地区がその拠点地区として位置づけられています。アシタシアは、ささしま地区に人々の出会い、発見の場を創出し、さまざまな境を越えていくことで、日本社会の明日、未来をつくることを目指すプロジェクトです。

会場参加を希望される方は、インターネット申込みの際に、会場参加希望の欄にチェックをお願いいたします。希望欄のチェックがない場合、入場をお断りすることがあります。愛知大学の入構制限により会場参加が不可になる場合があります。公式サイトで最新情報をご確認の上ご来場ください。

【会場】

愛知大学 名古屋キャンパス
グローバルコンベンションホール
(名古屋市中村区平池町4丁目6番6)



境を越えて、明日をつくる。

ASiTASiA

愛知大学 越境地域マネジメント事業 / アシタシア

ASiTASiA（アシタシア：明日の国）は、縮減する日本社会の明日（あした）、未来をつくることを目指すプロジェクトです。名古屋市ささしまライブ地区にある愛知大学名古屋キャンパスを拠点に、様々な境を越えて、人々が出会い気づきを得る場を創出し、社会課題の解決と担い手の育成を目指します。

事業理念は越境

- 様々な境を越境して人と人が出会い、気づきを得る場をつくる
- これまでの立場を越境することで社会課題を解決する仕組みづくりを実践する
- 大学という研究・教育基盤を活用して越境をリードする研究・人材（越境人材）を育成する

背景は、地域社会への貢献

愛知大学は1901年に中国上海に設置された東亜同文書院を前身として、1946年に愛知県豊橋市に設立されました。建学の精神を「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」としています。これらを実践するために、2018年より文部科学省私立大学研究ブランディング事業「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」をスタートし、三遠南信地域連携研究センターを中核に、地域空間・地域システム・地域主体の境界を越える『越境地域マネジメント』の研究に取り組んでいます。

アシタシアは、2012年に名古屋市ささしまライブ地区に開校した名古屋校舎を拠点として、『越境地域マネジメント』を具体化する取り組みです

アシタシアのプログラム（サロン、リビングラボ、研究・人材育成）

アシタシアは、3つのプログラムを実施します。

- ①アシタシア・サロンの開催
地域住民、企業関係者、行政関係者、大学の人材
交流と気づきの場の提供
- ②リビングラボの開催
社会課題解決に向けて、社会実装を行う産学官民の
枠を越えた仕組みづくり
- ③越境研究・越境人材の育成
サロンとリビングラボでの取り組みを大学研究・
教育に反映した越境研究・人材の育成



広く多様な主体が参加しやすいサロンの開催からスタートし、段階的に3つのプログラムに発展させていくことを目指します。

アシタシア公式サイト <https://asitasia.aichi-u.ac.jp>